



校報

令和7年度 可児市立土田小学校

【学校教育目標】たくましく生きる土田の子

はとぶき

5月号



土田小オリジナル
キャラクター【はとみん】

未来へつながる習慣づくり



一般の企業では、毎朝、職場ごとに朝礼が行われる場合があります。その朝礼には、いろいろな目的があるとされています。

第一に、「ウォーミングアップ」つまり、仕事に向かう心身の準備です。第二に「情報の共有」です。第三に「目的の確認」が挙げられます。一般的には経営理念の斉唱などがそれに当たります。仕

事上の様々な判断の基準にもなり、また、働き甲斐や良き使命感の源泉にもなります。第四に、「基本動作を習得する場」であるということです。挨拶や返事の仕方のトレーニングによって、社会人としての基本動作に磨きがかかります。最後は、「チームワークの強化」です。例えば、順番に話をしたり聞いたりする中で、より良いモラルを学び、価値観を共有することでチームワークが高まります。

ご存じのように、学校でも「朝の会」という朝礼が行われています。朝の会は、まさに「ウォーミングアップ」。登校後、ざわざわしている子どもたちも朝の会で気持ちを切り替えて、そのまま授業に向かいます。係からのお知らせ、本日の予定の確認は「情報の共有」です。「目的の確認」は、先生の話の中にちりばめられています。学年の発達段階に合わせて、目指す姿や大切にしたいことを丁寧に伝えます。「基本動作の習得」は、ハンカチなどの持ち物チェック、爪の様子などを確認することで、清潔に過ごすための習慣を身に付けていきます。時には、自分の生活習慣（例えば、挨拶ができたか、靴やトイレのスリッパをそろえることができたか、宿題をきちんと提出できたか…など）を振り返り、自立する力を高めています。「チームワークの強化」という点では、学級みんなて歌を歌ったり、音読をしたりします。順番に仲間の話を聞くのも、互いを理解し、寛容さを育てるというねらいがあります。

この「朝の会」のように学校で取り組んでいることは、子どもたちが大人になって社会生活を営む上で大切なことへとつながっています。実は大人になってもスムーズに朝礼になじめるのは、学校での経験が生きているのかもしれません。

そんな学校に毎日登校できるのは、やはり家庭での生活習慣が基礎になっています。早寝早起き、好き嫌いなく食べるなど健康に過ごす習慣づくりのおかげで元気に学校に来られます。先生や地域の方に挨拶ができるのは家庭で「おはよう」「ただいま」などの挨拶の習慣を指導（または躾）してくださっているからです。雨の予報のときに、ほとんどの子が傘を持って登校できるのもお家の人の働きかけのおかげです。

子どもたちの未来につながる「より良い生活習慣づくり」をありがとうございます。